

# 心友会だより

第 4 1 9 号  
3 月 ・ 4 月 合 併 号

昭和44年6月1日創刊  
平成22年3月8日発行  
発行所及責任者  
川崎市多摩区東生田4-13-17  
電話番号 044-976-0708  
郵便番号 214-0031  
宗教法人出雲心友教会  
編集兼発行人 佐藤武彦  
毎月8日1回発行  
1部150円 (送料共)  
年間購読料1,800円

## 春季祖霊大祭

三月二十一日(日)の春  
分の日は、春季祖霊大祭で  
す。  
一般に彼岸の中日と呼ば  
れている日ですが、皆様が  
御承知の通り、元来は神道



大国主大神様の御神像

の先祖供養の日です。

今こそ仏教の先祖供養  
の日の様になっていま  
す。が、神道では、仏教伝来よ  
り前から行われている大切  
な行事なのです。

日本人は、世界的にみて  
も、昔から先祖供養を大切  
にしている数少ない民族と  
しても有名です。

日本人の心の中には、四  
季をとおり、先祖の御霊を  
偲んで墓詣りをしたり、再  
び御先祖様が家に帰って  
くるといふことで、残された  
子孫と先祖との一体感を認  
識し、先祖が守護霊になっ  
て守って下さるのだという

信頼感、安心感と常に自分  
の肉体の親に対する感謝は  
魂の親である大神様を慕う  
信仰と同じ様に、脈々とひ  
きつがれています。

さて、私たち出雲心友教  
会の信者は、他の人たちに  
比べて恵まれている点がい  
くつかあります。

まず最初に大国主大神は  
幽冥主宰大神(幽世大神)  
である為、先祖供養が出来  
る唯一の神様であるとい  
うことです。

つまり、いかなる方法で  
先祖供養をさせて頂くこと  
最終的には、幽世大神にお  
引き上げ頂くのです。その  
元の神様と直接ご縁があつ  
たと言ふことは特筆すべき  
事です。

そして、もう一つ特筆す  
べき点は、霊眼を神様から  
授かった会長とご縁があつ  
た事です。

人間は、目に見える世界し  
か信じない人がほとんどで  
す。  
霊界は、普通の人たちが  
らは、知る事の難しい未知  
の世界です。

しかし、会長先生は、その  
霊界を大国主大神のお力によ  
つて見せて頂いているのです。  
こうした、ご縁を大切に  
して幽世(あの世)の事を  
私たちは、もっと勉強して  
先祖供養を真剣にさせて頂  
かなければなりません。

人間は、肉体的なその死  
をもつてすべてが終わるわ  
けではありません。分霊と  
しての霊魂は、死後五十日

は地上にとどまりますが、  
以後、生きざまによって行  
く場所が違います。そして  
最後には、生き残った子孫  
の御供養によって神の列へ  
行く事ができるのです。

つまり、御供養が充分で  
あれば神の列へ入る事がで  
き(成仏でき)そこから祖  
霊として私たち子孫を三代  
守護して下さいます。

それでは『霊のさわり』  
についてはどうでしょう。  
大国様から会長先生への御  
霊示によれば「幽世は顕世  
の鏡。顕世のことは幽世の  
こと。人間死んで楽になれ  
ると思うと大間違い。ただ  
自分で業を果たし徳を積む  
ことができなくなるだけ」  
とのことなのです。

他の新興宗教などでは、  
霊の存在を利用して「あな  
たの家で病人が絶えないの  
は先祖がたたっているから  
です」と言ったりして法外  
なお金を請求して入信させ  
たりする悪質なところがあ  
るようですが、考えてみる  
までもなく、そんなおかし  
な話はありません。

なぜなら、神は私たちの  
心の親ですし、先祖は肉体

の親なのですから…。常識  
的に考えてみて下さい。も  
し、病気や何かのトラブル  
で悩んでいる子孫がいたと  
したら、一日も早く良くな  
ってほしい、一刻も早くそ  
うした悩みから脱してほし  
いと願うのが親心であつて  
たたるというのは、全く筋  
が違ふというのをおわかり  
になれると思います。

確かに、先祖霊から発せ  
られるサインというものは  
あります。それが俗にいう  
『さわり』というもので、  
決して『たたっている』わ  
けではありません。あくま  
で供養してほしいというサ  
インなのです。

そして、この霊界からの  
サインに我々が気づいた  
時、真心から先祖供養をさ  
せて頂き、先祖を一日も早  
く神の列へお引き上げ頂い  
て、守護霊(子孫を三代守  
れる霊)になって頂くこと  
こそ家が栄える近道なので  
す。

日々の供養が大切なのは  
言うまでもありませんが、  
せめて祖霊大祭には参列し  
て『先祖供養』を再認識し  
てみて下さい。



### 拍手の意味

一般の神社の拝礼作法は二礼二拍手一礼です。しかし、出雲の大国主大神は神々の司であらせられる為、二礼四拍手一礼である事は皆さん御存知だと思いますが、最近では、神社などにおまいりに行っても正しく拍手出来る人が少なくなっている様です。背筋を伸ばして清冽の気をみなぎらせ、精神統一をし、ゆつくり拍手をする。この行為は、単なるしきたりや儀礼ではありません。日本人が古代から行なってきた霊振のためのものです。霊振とは、人間の魂を振り動かして、魂を再生させる、あるいは超生命力を得るためのものなのです。

中国が三世紀の昔、日本について書きしるした史書「魏志倭人伝」によれば、古代の日本人は、道で人に会えば、その人に対して手を打って、おたがいの挨拶としたと記されており、このことの意味は、手を打つその音の振動によって相手の霊を招き寄せ、通じ合わせる、心と心を通わせたいということを表す動作であり、作法であったと思われる。ですから神社や自宅の神棚の前で拍手（柏は、拍の誤字とも言われる。実際『拍手』でも「かしわで」と読む事ができる。）を打つということはその「気」のこもった音によって空気を振動させて、神様をお呼びし、神様の御心をいただきました、ということを表している作法なのです。

何の気も込めず、力なく手を打つたのでは、神様は振り向いて下さいません。あくまでも、清らかに、無心に、どこまでも響く様に手を打つことが大切です。朝に感謝、夕に反省して柏手を打つて心を静め、神様の白い御心を前にして、その日一日の自分の言動を反省し、心の汚れを懺悔することです。

人間である限り、反省することのない人というのはまずいないでしょう。不注意な言葉で人を傷つけてしまった事などは誰にでも経験があると思います。そしてこの場合、ただ、

あれはまずかった、これは恥ずかしかつたというだけでなく、神様の求められる「直き心」を鏡として、なぜそういう言動が出てきたのかという、奥深い心の問題にまで思いをいたしてほしいのです。そしてその曇りがわかった時には、神様に向って「申し訳ございませんでした」とお詫びをするのです。懺悔とは神様から授かったきれいな分霊を汚してしまった、というお詫びでなくてはならないからです。

日本人は、戦後とくに形式を軽んじる様になりました。形式よりも内容が問題だという訳でしょう。確かにその通りだと思えます。しかし、人間という生き物は怠惰なものです。ですから、形式があつて逆に内容が生まれてくる場合もあるのです。おそらく私たちの先輩は、そういうことを百も承知の上で、形式の重要さを伝えてきたのだと思われまます。

もちろん内容が伴つての形式だと言うことに変わりはありません。

私たちが御神前に立つた場合を考えてみても、この事はわかると思えます。神前に立つということは、神と自分とが、真剣に相対するということ。内容があり、二礼四拍手一礼して気持ちを集ませるといふ作法、つまり「形式」が存在するのです。

また、こうした機会があること、言いかえれば、朝夕おまいりをする事によって、大神様から「気力」を頂くと同時に、自分自身の意識に感謝と反省が生まれるのです。

もちろん「神」に手を合わせなくても漠然とした感謝や反省の念は、あると思えます。しかし、そういうものは、日々顕在化されない限り、ぼやけて、やがて消えていってしまうものなのです。

よく考えてみて下さい。欲望のままに暮らして「ああ、疲れた」と寝てしまふ人と、日々感謝と反省を心に刻み、神に手を合わせている人と、その間に人間としてどれ程大きな差がつくのかを……。

### 心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン  
心友会だよりを年間千八百円（二部につき）でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。  
（郵送先をお知らせ下さい。）  
こちらから直接郵送も可能です。

●会長先生のご著書でございます  
会長先生のご著書、「日本の心 神道入門」(再版)、「霊のめぐみ 霊のさわり」、「神霊の奇跡」、「神のこころ・霊のめぐみ」、全て、末広会にて販売しております。  
在庫に限りがございますので、お早めにお求め下さい。  
ご不明な点等、ございましたら  
〇四四(九七六)〇七〇八  
佐藤まで

### 大自然の恵みを活かして住まう 省エネ 活性化住宅

太陽で24時間床暖房 **ハイブリッド ソーラーハウス**  
奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間（全館床暖房）エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。  
下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。

出雲心友会 横浜支部会員  
**My Hands 有限会社白幡工務店**  
〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10  
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085  
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp  
代表取締役 金子文雄

### 末広会コーナー

- 各種贈答品承ります。多少に拘らず、お気軽にご利用下さい。
  - 冠婚葬祭用カタログがございます。自由に選べるカタログオーダー。予算別には、贈答品文庫カタログ。是非ご利用下さいませ。
  - 詳しくはお電話にて。
  - 宮城県産、キヌヒカリを御奉納米として承っております。
  - また、ご自宅用としても、名水の逸品のキヌヒカリをお召し上がりください。
  - 発送も致しております。
  - 多良間島産の黒糖販売開始  
さとうきびから作られた本物の黒糖です。
  - 是非、お求め下さい。
  - 新製品続々登場  
※詳しくは、お店にて。
  - 他にも多数商品がございます。
- お問い合わせ、資料請求は、  
〇四四(九七六)二八八二まで



発想をアクティベート。伝える情報を伝える情報に。マルチカルチュラル時代のコミュニケーションサービスを展開しています。

株式会社 **プレシーズ**  
〒108-0072 東京都港区白金 1-25-20  
Tel: 03-3444-7111(代) Fax: 03-3442-5775  
E-mail: mails@preseez.co.jp  
Homepage: http://www.preseez.com

### 身内の方が亡く なられた時

自分の家族や親戚の方に万が一不幸があつた場合どんな事に注意すれば良いのでしょうか。

まず、ここで言う親戚とは三親等以内の身内、つまりおじやおばまでです。

人の死とは、魂が肉体から離れた瞬間を言いますがその魂は、すぐに幽世(あ

### 日本の花

日本の花と言えば、第一に桜の花があげられます。

日本人の心を表現するのに、桜はたびたび比喩的に用いられ、桜の花は大和魂の代名詞でもありました。

さて、「さくら文化」の系譜は、昔から脈々と続いていますが、農耕民族である日本人にとって『花』というのは、元々『稲の花』の事で、それはそのまま神に捧げる花であり、神の依り代でした。ですから『花祭り』とは、稲の花の成熟を神に祈願して、豊作を願う行事で、現代人が花を愛

する感覚とは違っていたと言えます。

の世)へ行くのではなく、五十日間(仏教では四十九日間)は、この世に残り、家族も含めて、友人、知人などの所を回っています。

さて、ここで問題となるのが、大神様に対して、あるいは自分自身はどういう生活を送つたら良いのかという事です。

大神様に対しては、朝夕のおまいり、八の日のおとりかえなど、普段通り行つ

て下さい。ただし、この場合の拍手は、忍手(音をたてない拍手)となります。

また、同居の方が亡くなられた場合、家に御遺骨が置かれている間(埋葬するまで)は、お社の上から縦に半紙を一枚貼り、御神体(大國主大神)からけがれ(この場合は御遺骨)が見えない様にして下さい。

日常生活において最も注意する事は、結婚式などの

神の座を意味しますから、稲作が始まり、共同祈願を行う様になった頃から『神霊の依る花』として尊ばれたのではないかと、想像することができません。

今日、神社仏閣の様な霊地には、桜の木が多く植えられているのを見る事ができます。

かつては、桜の開花で、その年の豊凶を占うことが盛んに行われておりました。

また、桜は王朝人の和歌や日記にも登場して、文学的モチーフとしても、花の仲間としては、一番多く使われました。

お祝い事には絶対に参加しない事です。(葬儀など、神仏に対するおまいりは構いませんが、全て忍手の作法です。)

五十日が過ぎれば(それ以前でも埋葬が済めば)元の生活に戻して結構です。



そして、その価値を更に高めたのが江戸時代の国学者、本居宣長でした。

彼は自らを吉野の水分身社の申し子で、桜の化身と信じて、とても桜を愛好したそうです。

『しきしまの大和心を人とはば朝日に匂ふ山桜花』という彼の歌は、あまりにも有名です。

その後桜は、武士道の花や軍国の花となつて、いつそう日本人の心に刻みこまれましたが、神宿る花として、かつての素朴な信仰を残した行事も、今なお各地で行われています。

ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。

**生 翁 庵**

新宿区神楽坂 1-10  
TEL 03 (3260) 2715

日立チェーンストール  
ソーニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

**神原電機株式会社**

中野区沼袋 1-2-12  
TEL 03-3387-6351(代)

**KANEDA**  
Co. advance  
油のことなら何でもご相談下さい。  
食用油脂・食品・調味料  
石油製品・化学製品

**カネダ株式会社**

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号  
〒111 TEL.03-3861-1311 (代)  
営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡  
http://www.abura-ya.com/  
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

**人間ドック**

疾病の早期発見・早期治療から予防  
そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

資料無料送呈

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史  
東京都文京区西片 1-15-10  
TEL. 03-3816-5840

ボリューム満点 **“おいしいラーメンの店”**

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

**らーめんはうす**

川崎市多摩区登戸 3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ

**宮川食鳥鶏卵株式会社**

東京都中央区築地 1-4-7  
電話 03 (3541) 0164・0177・0370  
FAX 03 (3541) 0164



### 神拝詞と謝恩詞

神を祀り、朝夕に神拝詞をあげ、先祖の供養を心から行い、自分では正しいことをしているつもりでも、倒産や、病苦といった「不幸」な目にあうことがあります。その時、「神を信仰しているのに、どうしてこんな目にあうのだろうか。」と嘆くとしたら、その人は結局「理」が先で「真」が後に来ているのです。これではご利益信仰になつてしまいます。

大神様は「謝恩詞」をお喜びになります。それも願いがかなったことへの感謝からではなく、「ただ今在ることへの感謝」の気持ちからあげる時、最もお喜びになります。

私たちは、大神様によって生かされています。「生殺与奪の権」は大神様が握っているのです。人間が「果たし」を行い、「徳」を積むことも、生かされていればこそ出来ることで、死後においては不可能です。しかも、この世に生まれてきたのは、元々、前世で犯

した罪の果たしを因縁として負っているからなのです。ですから、一見「不幸」に見えたことも、実は「試練」だったのです。

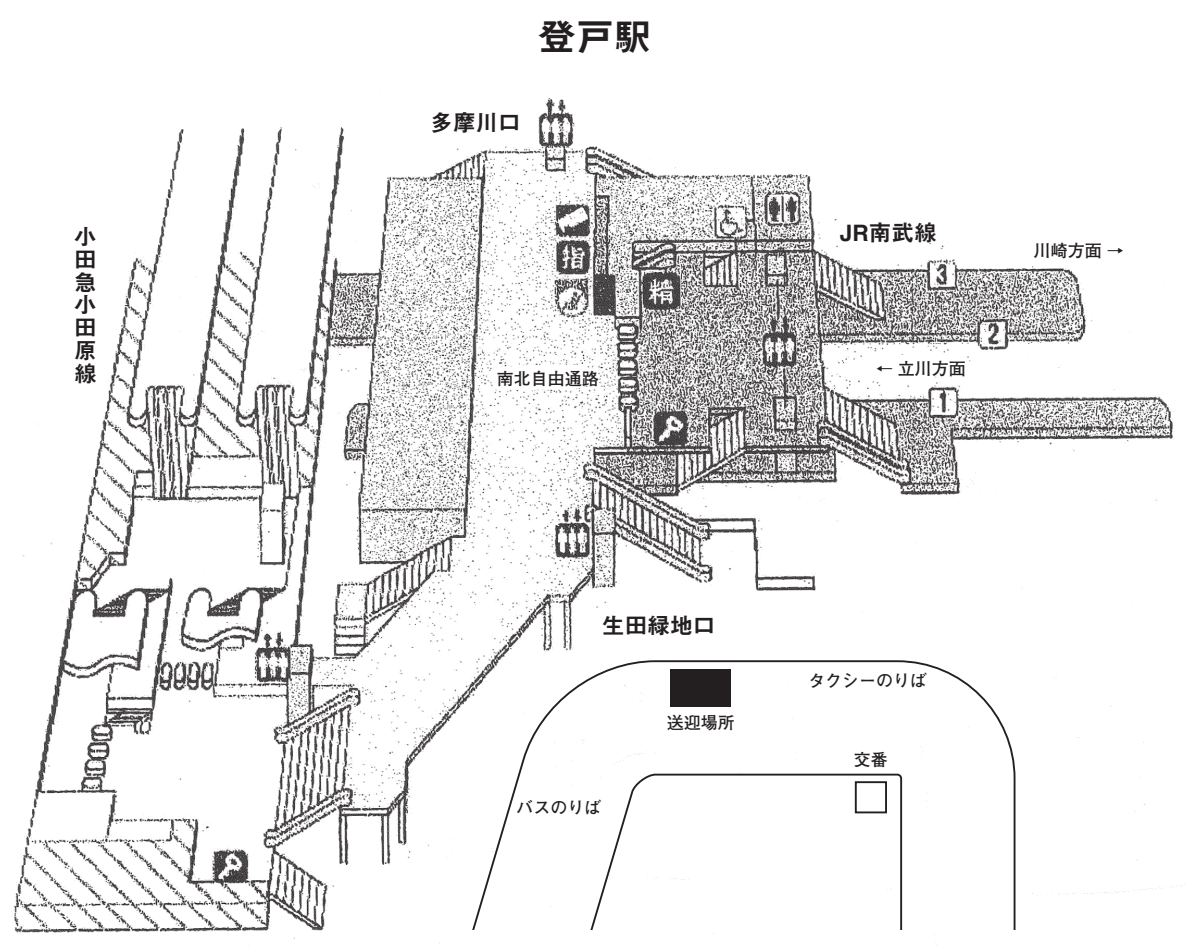
神は、すべてを見ておられます。それどころか、御守護神として私たちのそばで守っていてもくださいます。この神の存在と御加護を常に信じる心があつて初めて「真」が先に来る本当の信仰となるのです。そこでは神から常に氣力を授かり、魂がみつれることは、ないので。果たしに立ちむかう氣力をいただけるだけではありません。「理」の面でも知恵の目が開かれ、解決への道も見えてくるのです。神のお手振りが動き、奇跡が起るのも全くこうした信仰に対してなのです。

八の日には、以上のことを理解なされた上で、神拝詞の後に、謝恩詞を感謝の氣持を込めておあげになってください。



### 送迎駅の変更について

一昨年から、送迎場所が、向ヶ丘遊園駅より登戸駅に変わりましたのでご注意ください。詳細は、下記の通りです。



### 御遷座祭について

引越しをされたら、すみやかに心友会へ新しい住所をお知らせして頂くのはもちろんですが、荷物整理をされて、ある程度家の中がおちつ

いたら、大神様の引越しの報告祭である『御遷座祭』をしなければなりません。

その際、用意する物は、御初穂、御神体（大国様）、御神饌（鯛二匹、野菜七種類、赤飯）です。（御神饌は、末広

会でも用意出来ます。御希望の方はお申し込み下さい。

あらかじめ日程をおとり致しますので、社務所までお電話下さいませ。

### お願い

この心友会だよりは、皆様方の会報として発行させて頂いておりましたが、移転などによって戻ってきてしまうものもありますので、移転などによって住所が変わった方は、社務所までご連絡下さいます様、お願いします。



**正一位中子稻荷 いなり茶屋**  
 ~法事会席3,500円より承っております~  
 水曜日定休  
 営業時間 午前11時~午後3時  
 午後6時~午後10時  
 群馬県北群馬郡伊香保町509-3  
 天田 信良・典子  
**TEL.0279-72-4465**

### 広告募集

○年間三万円より  
 ○内容詳細は  
 電話にて  
 お気軽に!  
 ○四四(九七六)二八八二  
 佐藤まで

### 社務所からのお願い

いよいよ春季祖霊大祭の季節となりました。

皆様方から毎年頂いておられます年会費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年会費 (月間五百円)

年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料

年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料

年間五千円

口座番号は、左記の通り

〇〇二九〇一七一一三三二二

\*お手数ですが、通信欄に年会費・管理料の区別を明記して下さい。

### 大祭の奉賛金と

### 御初穂料について

春になり、五月には春季例大祭がございます。

大祭の度毎に、信者の皆様方にご協力して頂いておりますものに奉賛金があります。この奉賛金は、大祭を執り行なう為に必要な諸

経費を賄う運営資金として役立たせて頂いておりますので、よろしくご了承下さいませ。(大祭の準備費用とお考え下さい。)

また、大祭の当日(代参の方は前日まで)に御神前にお供えする感謝のしるしとしての御初穂料があります。この御初穂は、日頃から大神様に御守護して頂いている感謝の気持ちの形に表わす意味のものです。

(直接、御神前にお供えます。)

古い会員の方々には今更

改めて申し上げる迄もない事で、誠に失礼とは存じましたが、新しい会員の方々より質問がありましたので、この際(当初ご奉賛をお願いしてより数十年経過しております)新しい信者さん方には、その目的とか意義の違いがおわかりにならない方も多分おられるのではないかと思われましたので(その趣旨の違いを改めてご説明させて頂きました)様な次第でございます。

何卒右、ご理解の上、ご協賛賜ります様、今後共よろしくお願い致します。

### 八の日の月並祭にお詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃の御加護に感謝する御祭です。自分の損得を抜きにして本当に感謝のお詣りをさせて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈りしているからいいです』とか言い訳しないで、出来るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回あります。せめて一日ぐらいは、自分自身で日を決めてお詣り下さいませ。

特に総代の方、支部長の方、初心に返って、あの頃の生き生きとした、燃える様な気持を思い出して、お詣り下さい。

また、その後、勉強会をさせて頂き、大神様についてのお話を会長先生がして下さいませ。その他、皆様方の体験談や質問などごやかな雰囲気の中で、ディスカッション形式で座談会をしておりますので、是非ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、大神様は手を広げてお待ちしておりますので…。

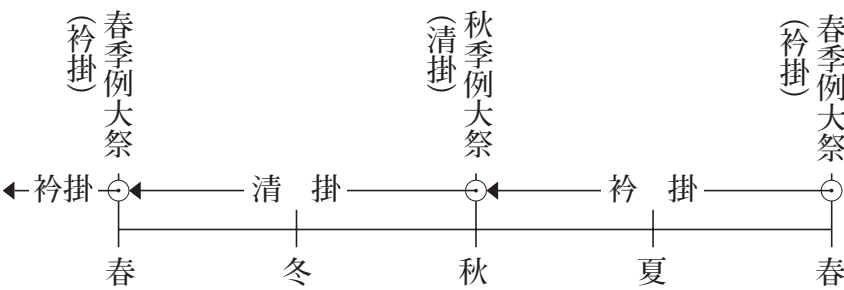
### 清掛と衿掛について

清掛と衿掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらつしやいますので、確認させて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆春季例大祭当日より秋季例大祭の前日まで衿掛の着用(夏季)

☆秋季例大祭当日より来年度の春季例大祭の前日まで清掛の着用(冬季)



### 鬼門について

陰陽五行説は、東北は危機がはらまれていた方向だと説いています。

北方は、冬に通じ寒くて暗いのですが、東方は、春に通じ万物の生命がもつとも活気を持つとされています。

だから、その間である東北は、陰である北から陽である東に転ずる急所だといふのです。

またそこには、鬼が棲むとも言われ、この様な考えは、奈良時代以来日本に広まってきました。

鬼門に神棚を祀ったり、便所をつくると、家に病人が絶えないとか、鬼門に玄関を設けると、そこから多くの災いが入ってくるなどといわれます。

また、町づくりのとき、鬼門から悪霊が侵入してくるので、それを避ける処置が必要だと思われていました。

最澄は、平安京の東北の守りとして比叡山に延暦寺をつくりました。

徳川家康も江戸の町を開いたとき、側近の僧である

天海に江戸城の東北にある上野の山に寛永寺を建てさせました。

どちらも鬼門の災いを避けるためでした。

出雲大社でも古来から、「出雲屋敷」の霊験は数多く語り伝えられて居り、大地の司神である大国主大神の御神徳を頂いて御守護を願う信仰がありました。

すなわち、大国主大神をその家の御守護神としてお祀り申し上げることによって、方位方角の凶相が無くなるというものです。

皆様方のお家は、大国主大神を祀ることによって、「出雲屋敷」となっていますので心配はありませんが、唯一、鬼門である「艮」の方角(東北)だけには、汚水枘や浄化槽などは、決してつくってはいけません。

なぜなら艮を汚すとその場所が土地霊となってしまうからです。

土地霊になってしまうと、その住人が、毎月八日・十八日・二十八日の三回、一年間連続してお祓いしなければ災いを消せません。



三月～五月の行事予定

三月

七日(日) 年祭 正午  
七日(日) 総代会 四時

二十一日(日) 春季 祖霊大祭 二時

四月

四日(日) みたま祭  
五日(月) みたま祭  
七日(水) お花見会  
二十五日(日) 年祭 正午  
二十五日(日) 総代会 四時

五月

四日(火) みたま祭  
五日(水) みたま祭  
九日(日) 年祭 正午  
九日(日) 総代会 四時  
三十日(日) 春季例大祭 正午  
閉扉祭 三時

心友会ホームページのお知らせ

メールをお持ちの方は、アドレスの登録を行いたいと思  
いますので、下記の心友会のメールアドレスに件名「登録」  
にて住所・氏名・電話番号を送信お願い申し上げます。  
心友会の URL は [www.shinyukai.or.jp](http://www.shinyukai.or.jp)  
[izumo@shinyukai.or.jp](mailto:izumo@shinyukai.or.jp) です。  
また、ホームページ等へのご意見ご感想もお送り下さい。

三月二十一日(日) 春季祖霊大祭 二時

毎年、春と秋に各一回、  
祖霊大祭を仕えさせて頂い  
ております。

各家の御先祖様(ご主人  
の姓と奥様の旧姓)の名字  
を祭文にお入れして奏上申  
し上げ、御霊璽(神徒の方  
は、すでにみたまが入って  
いる御霊代)にみたまをお  
さげ致します。

みたま祭(祖霊社)

毎月二日間(五月初旬/五月中旬)にわたり御奉  
仕させて頂いております。

二日間共予約制となりま  
すので、お申し込の際必ず、  
御供養(ご希望のみたま様の  
生前のお名前、亡くなられ  
た年月日、享年、続柄をお  
知らせ下さい。

尚、原則と致しまして、  
各月(その月)に命日を迎  
えられる方々の御供養をさ  
せて頂きますので御了承下  
さいませ。  
申込み順です。お早  
めにご連絡下さい。  
また、神徒の方は、みた  
ましろをお忘れなくお持ち  
下さいませ。

つまり、この御霊璽は、御先祖の霊がさがっている大切なもの(仏教の位牌)です。

尚、当日は昨秋の祖霊大祭の御霊璽を必ずお持ち下さいませ。  
出席される方、代参御希望の方は、お送り致しましたハガキをご返送下さい。  
(欠席の方は、返信のハガキを出さないで下さい。)

春季例大祭 正午

五月三十日(日) 正午  
毎年、春と秋の年二回、  
本殿に於て行われる最も大  
きな御祭です。

また、日頃の感謝の気持  
ちを形に表わす絶好の機会  
でもあります。

五月三十日(日) 三時  
閉扉祭  
午後三時より、春季例大祭でお開けした御扉を、大祭当日の御加護に感謝して、大神様に御礼の祝詞を奏上し、お閉めする御祭でございます。  
正確には、この閉扉祭までが大祭でございますので出来るだけ参列下さい。

四月二十五日(日)・五月九日(日) 年祭(感謝祭) 正午

その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。

月並祭と同様、この年祭も自分の御利益ではなく、純粹に感謝の気持ちを大神様に御奉告申し上げる機会でもあります。

ハガキでご案内させて頂きますので、必ず出欠のお電話を下さいませ。

また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方も同様に直会(昼食)の都合がございましたら、人数をご連絡下さいませ。直会までが御祭です。  
尚、御神体(大国様)と清掛をお忘れなくお持ち下さい。

でもありません。

大祭当日は、正面の御扉が開き、大神様からの波長(恩頼)を直接頂けますので、万障お繰り合わせの上おまいり下さいませ。

尚、大祭当日より衿掛の

みたま祭だより  
一月  
荒井家 染野家 山内家  
藤野家 飯島家 長友家  
持田家 若林家  
二月  
馬場家 上島家 松田家  
会田家 藤原家 岩本家  
若林家 川村家  
以上の家々の御供養を、御奉仕申し上げます。

原稿募集中

編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、その他、御意見・御感想など、どんな小さな事でも結構です。また、詩や短歌、俳句などもお送り下さい。皆様からのお便りを心よりお待ちしております。

喪葬

☆二月十三日に横浜市港北区にお住まいの林幹子様のご主人、茂則様が、八十四歳で、帰幽されました。

林家の御遺族の方々には、慎んでお悔やみを申し上げますと共に、みたま様の御冥福を心よりお祈り申し上げます。  
尚、通夜祭・告別祭は、神式にて厳肅にお仕え申し上げます。

編集後記

☆春です。氣力を充実させて頑張りましょう。

御同日の予約について

☆3の日 (3日・13日・23日)  
9:30～11:30 (午前の部)  
13:00～15:30 (午後の部)  
☆8の日 (8日・18日・28日)  
9:30～11:30 (午前の部のみ)  
午後1時より月並祭(時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までに電話下さい。お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。  
044-976-0708